

令和6年度第2回かながわ人材育成支援ネットワーク（以下支援ネットという）幹事会 報告

日 時：令和6年12月13日（金）16時00分から17時00分まで

場 所：産業技術短期大学校 西キャンパス特別教室5

出席者：幹事9名（欠席4名）

所属	氏名	出欠
(一般社団法人)神奈川県専修学校各種学校協会	田村 守	出
株式会社就職塾	加藤 敏明	出
(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構神奈川支部 関東職業能力開発促進センター	高橋 哲也	出
いすゞ自動車高等工業学校	平山 実	欠
神奈川県立産業技術総合研究所	斉藤 光弘	欠
神奈川県職業能力開発協会	木下公太郎	出
(公財)神奈川産業振興センター	藤井 俊之	出
横浜国立大学	菅原 朋之	出
神奈川大学	旭 馨	欠
(株)キャリアサポート湘南	加藤 勝彦	出
キャリア・エンパシー	島村 泰子	欠
東部総合職業技術校	小山 宏	出
西部総合職業技術校	高橋 厚之	出

産業技術短期大学校	工藤 伸弘	校長
人材育成支援センター	藤井 孝一	所長
〃	齋藤 宗佳	職業訓練推進員
〃	植村 道忠	人材育成コーディネータ

I 議題

1. 令和6年度年間活動計画と実施状況について
2. 「人材育成に係るニーズ調査」について
3. ネットワーク会員情報の整理について
4. その他

II 話題提供

(テーマ) 『ボケ防止!』

(講師) 田村 守氏 支援ネット幹事長

□資料 (資料1) 令和6年度年間活動計画と実施状況

(資料2-1) 試行講座「マネジメントの基礎を学ぶ」リーフレット

(資料2-2) 試行講座「若手社員のやる気をさらに上げるポイント」リーフレット

(資料3-1) 「第2回産業人材育成フォーラム」リーフレット

(資料3-2) フォーラム講師 Metalina 追加説明

(資料4) 令和6年度ニーズ調査

(資料4補足) 調査質問項目

(資料5) ネットワーク会員情報の整理

(参考1) 令和6年度かながわ人材育成支援ネットワーク幹事名簿

I 議題 1. 年間活動計画と実施状況について

① 幹事会について

本日第2回幹事会として開催し、話題提供を田村幹事長よりお話ししていただきます。第3回幹事会を来年2月28日(金)に予定しております。話題提供は榎本竜二郎氏に「マネジメントの基礎を学ぶ(概要)」についてお願いしております。榎本様は令和6年度カリキュラム開発分科会の座長であり、令和7年度にスキルアップセミナー化された時の講師でもあります。

② 分科会について

本年度に開設しました「若手社員研修カリキュラム開発分科会」と「基礎的マネジメント能力向上カリキュラム開発分科会」について、両分科会とも11月まで計6回の会合を無事終了し、12月には試行講座を予定しております。

③ スキルアップセミナーについて

本年度は本幹事会に係るセミナーを11本開催予定し、内4本が受講者数の関係で中止となりました。これまでの平均より2本多いです。

④ 産業人材育成フォーラムについて

第1回は11月12日(火)にオンライン講演会として、テーマを「GX取組みに向けた日本企業の課題とビジネスチャンス」と題し開催しました。

第2回は令和7年1月14日(火)に、はまぎんホール・ヴィアマーレにて「未来をつなぐ!~人として成長できる場所を求めて」をテーマにMetalina氏に講演(プレゼンテーション)とその仲間とともに舞台表現

(ダンスパフォーマンス)を予定しております。現在鋭意参加者募集中ですが、皆様のお知り合いとか関係者にご紹介いただけましたら幸いです。

2. 「人材育成に係るニーズ調査」について

毎年行っている調査で、カリキュラム開発分科会テーマの参考となっています。今年度は12月16日より令和7年1月31日までとし、調査結果については第3回幹事会にて報告する予定です。

3. ネットワーク会員情報の整理について

昨年度より行っている調査ですが、昨年末の数字ですと現況不明とメール不達を足した宛先不明は、支援ネット37、企業ネット189でしたが、今年度1回目の調査では6月末でそれぞれ11と27でした。また10月より1回目に回答が無かった会員に対し行っている第2回目では12月12日現在それぞれ0となっています。この集約結果については2月28日に予定しています第3回幹事会にて報告させていただきます。そして令和7年度を保留期間として、ホームページ告知や利用機関確認票の再送などを行い、保留期間終了後宛先不明は退会扱いとし、令和8年度より本格稼働する予定です。

4. その他（各幹事より分科会などについての感想）

- ・労働法なども集団の管理を対象としている形から、個の管理に移行しているのではないかと、そういうテーマを新しく取り上げたらどうか。
- ・立場的に民間企業の人との意見や考え方が違うかもしれないが、参考にしたい点が多かった。
- ・企業では人手が足りないことの影響が多方面に影響していることや分科会では参考になることが多くあった。
- ・分科会当日に向けての事前準備が大変そうでした。
- ・分科会では新しい観点や為になるポイントが多くあった。
- ・大変勉強になった。開催日を月初にしたたらどうか。集まりが少し良くなるかも。
- ・座長と事務局の進め方に感心している。ワークシートもいいものが作られていた。
- ・いい会合であった。

以上について承認。

II 話題提供

田村幹事長より、「ボケ防止！」についてご提供いただきます。

以上